2023年2月6日

各　　位

会 社 名　株式会社グローバルダイニング
代表者名　代表取締役社長　長谷川 耕造
（コード番号 7625　東証スタンダード市場）
問合せ先　取締役 最高財務責任者　中尾 慎太郎
（TEL：03－5469－3222）

特別損失の計上及び繰延税金資産の計上並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年12月期において、下記のとおり特別損失及び繰延税金資産を計上する見込みとなりました。あわせて、2022年2月10日に公表いたしました2022年12月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1.　特別損失の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社所有の事業用資産について閉店決定及び収益性の低下により減損の兆候が認められたものについて、2022年12月期第4四半期連結会計期間において166百万円の減損損失を特別損失として計上する見通しとなりました。

2. 繰延税金資産の計上

当期の業績及び今後の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性が見込まれる部分について繰延税金資産を計上することといたしました。これにより、2022年12月期第4四半期連結会計期間において、法人税等調整額（△は利益）を△108百万円計上する見込みとなりました。

3.　2022年12月期（連結）通期業績予想の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	8,102	106	156	141	13.68
今回修正予想（B）	9,558	224	297	222	21.46
増減額（B－A）	1,456	118	140	80	
増減率（%）	18.0	111.9	89.9	56.9	
（参考）　前期実績（2021年12月期）	9,573	727	1,066	1,046	101.25

【修正の理由】

2022年10月の入国規制緩和による訪日外国人の増加や、政府・自治体による旅行・外食需要喚起策が実施されたことにより、2022年12月期第4四半期会計期間における国内売上高が計画を大きく上回る見通しとなり、売上高増加に伴う利益増加と、上記「1.特別損失の計上」及び「2.繰延税金資産の計上」に記載した理由により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が、前回の連結業績予想を上回る見込みとなりましたので、上記のとおり修正いたします。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上